



平成 30 年 4 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社放電精密加工研究所
 代 表 者 名 代表取締役社長 二村 勝彦
 (コード番号 6469)
 問合せ先責任者
 役職・氏名 常務取締役執行役員管理部長
 大村 亮
 電 話 046-250-3951

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、このたび平成 31 年 2 月期（第 58 期）から平成 33 年 2 月期（第 60 期）までの 3 ヶ年を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画ローリングについて

中期経営計画は 3 ヶ年の環境変化等を想定して策定するものですが、環境の変化に機敏に対応すべく、毎年のローリング（中期経営計画の再策定）を実施します。なお、年度でのローリング実施を基本といたしますが、大きな環境変化が認識される場合には、期中でのローリングを実施することといたします。

2. 中期経営計画基本方針

当社グループは、新たなスローガン「常に信頼と感動を与える企業へ」を掲げました。改めてステークホルダーの満足度が高い企業を目指す上で、既存事業を磐石なものに作り変える行動と、新規事業・新規アイテム拡販への礎を築くべく、積極的な事業展開を図り、高い成長の持続を目指し、今までの受託加工から、航空機エンジン部品事業をはじめとする新しいビジネスモデルとして部品メーカーへの転換を目指します。

3. 中期計画の業績目標（連結）

単位：百万円

	平成 30 年 2 月期 実績	平成 31 年 2 月期 業績予想	平成 32 年 2 月期 計画	平成 33 年 2 月期 計画
売上高	10,654	11,776	12,471	13,483
営業利益	389	954	1,155	1,376
経常利益	469	1,004	1,189	1,411
当期純利益	354	660	752	932

平成 31 年 2 月期は、平成 30 年 2 月期に発生いたしました成田事業所の爆発火災事故による代替生産に伴う損失が解消されたこと、航空機エンジン部品事業での生産が順調に推移する見込みであることなどから、前期に比べ増収増益を見込んでおります。

航空機エンジン部品事業の低圧タービンブレードにつきましては生産が安定してきたことにより平成 30 年 2 月期に黒字に転じております。圧縮機・燃焼器部品につきましては、平成 30 年 2 月期と比べ生産量も徐々に増加してまいります。一部のアイテムで若干の遅れも見られることなどから、当初計画に比べ 1 期遅れて平成 32 年 2 月期に黒字化する見通しであります。

平成 32 年 2 月期以降につきましては、航空機エンジン部品事業をはじめ、自動車排気ガス浄化用のセラミックスハニカム押出用金型、及びデジタルサーボプレス機の販売なども順調に推移するものと見ております。

この中期経営計画は、本資料策定時点において入手可能な情報に基づいて策定したものです。実際の業績などは、今後さまざまな要因によって記載内容と異なる可能性があります。

以上